

# 英語科学習指導案

令和8年6月10日(水) 5校時 1年E組教室

授業学級 1年E組(36名)

授業者 笠井 勇也

1 単元名・学年 『お気に入りの○○』について友と伝え合おう・1年

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>知</b> be動詞(3人称)の肯定文・否定文・疑問文、疑問詞や代名詞の特徴やきまりを理解している。</p> <p><b>技</b> 「お気に入りの○○」について、上記の文法事項を用いて、やり取りを継続する技能を身に付けている。</p>	<p><b>思</b> 「お気に入りの○○」について、話し手は、事実や自分の考え、気持ちを1文付け加えたり、聞き手は、話題を広げたり、深めたりする質問をしたりして、即興で伝え合っている。</p>	<p><b>態</b> 「お気に入りの○○」について、話し手は、事実や自分の考え、気持ちを1文付け加えたり、聞き手は、話題を広げたり、深めたりする質問をしたりして、即興で伝え合おうとしている。</p>

3 基礎的研究

(1) 生徒の研究

Lesson 1 「About Me」や Lesson 2 「My Hero」において、生徒は、互いのことをもっと知るために、自分のことや自分にとってのヒーローについて、発表する活動を繰り返してきた。その中で、生徒は、“Are you~?”や “Do you~?”の質問をすることで、互いの共通点を見付け、相手に合わせて話題を選択しながら、関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で発表することができるようになってきた。一方で、事前に準備したメモなしではやり取りが継続しない生徒の姿がある。これは、話し手が、相手からの質問に対して応答とさらに事実や自分の考えを付け加えることができていることと、聞き手が、質問によって話題を広げたり深めたりするというやり取りを継続するための考え方やその際使用する英語が分からないことが要因であると考えられる。このような生徒の姿から、本単元では、【話すこと〔やり取り〕ア】の力を高めることを目指す。

(2) 素材の研究

本単元で扱う Lesson 3 「My Treasure」では、教科書の登場人物が、「お気に入りの『店や場所』や『キャラクター』」、「大切にしているもの」を話題にやり取りをしている。これらは生徒にとっても身近な話題であるため、やり取りがしやすいと考えられる。また、教科書のモデル文には、話し手が、聞き手の “What is this?” という質問に対して、“It’s a sitar, a traditional musical instrument in India.”と事実を1文付け加えたり、聞き手が、その発話に対して “Can you play it?”と質問をしたりして、話題を深めるやり取りの展開が示されている。さらに、聞き手が、互いにお気に入りのアニメである “Moomin” という話題から、“Do you know Sakura Momoko?”と質問をして話題を広げるやり取りの展開も示されている。このように、教科書のモデル文の内容面に加えて、どのような英語を使用しているかという言語面も参考にして、話し手は相手からの質問に対して応答とさらに事実や自分の考えを付け加えることや、聞き手は話題を広げたり、深めたりする質問をしてやり取りを継続していく言語活動を繰り返す活動が位置付く単元である。

(3) 教材化の研究

本単元では、Lesson Goal を「互いのことをもっと知るために『お気に入りの○○』について友と伝え合おう」と設定する。ここでは、毎時間テーマを変えながら即興でやり取りする活動を位置付ける。しかし、単元導入時は、やり取りが継続しない生徒が多いだろう。そこで、教師は、教科書の対話や表現を参考にしていくことを提案する。生徒は、教科書から、“This/That is~, It is~, He/She is~”を使ったり、“scary, friendly, funny”等の形容詞を使ったりして、話し手が、事実や自分の考えを付け加えていることに気付くだ

ろう。また、生徒は、聞き手が、“Do you~?”や“When~?, What~?, Who~?”等の疑問文を使って、話題を広げたり深めたりする質問をしていることに気付くだろう。教師は、それらをやり取りを継続させるためのポイント（以下「やり取りポイント」）としてまとめていく。生徒は、「やり取りポイント」を意識しながら対話を継続しようとするが、やり取りを振り返ることが難しいと感じるだろう。そこで、教師は、生徒自身のやり取りを振り返るために、タブレット端末で録画することを提案する。生徒は、自分たちのやり取りの動画を見ながら「やり取りポイント」を基にアドバイスし合うだろう。このように、教科書から内容面や言語面を参考にしたり、タブレット端末で録画した自分たちのやり取りを「やり取りポイント」を基に振り返ったりしながら、「お気に入りの○○」を話題に、やり取りを継続するような言語活動を繰り返す活動を通して、関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようになっていくと考える。

**4 単元展開 「お気に入りの○○」について互いに伝え合う学習**  
 (全9時間扱い 本時は第8時)

段階	◆ねらい ・教師の指導、支援	評価の観点	時間
導入	<p>◆<u>単元の見通しをもつ。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前単元の題材名である「My Hero」についてペアでやり取りした後、前単元の振り返りについて全体で共有する場を設ける。</li> <li>全体でのやり取りから「会話を継続させて、友のことをもっと知りたい。」という生徒の願いを取り上げ、Lesson Goal「互いのことをもっと知るために『お気に入りの○○』について友と伝え合おう」を設定する。</li> </ul>	を記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況	1
展開	<p>◆<u>教科書から「やり取りポイント」を獲得し、『お気に入り』の○○について、友とやり取りを繰り返し、対話を継続する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書のモデル文を提示し、登場人物がどのようにやり取りを継続しているかを尋ね、生徒の考えから、「やり取りポイント」を確認する。</li> <li>教科書のモデル文ではどのような英語を使用しているかを尋ね、話題を広げたり深めたりするための英語を全体で共有し、確認する。</li> <li>教科書の登場人物がやり取りをしている以下の①～④の話題について、友と即興でやり取りをするように促す。</li> </ul> <p>①お気に入りの「店」      ②お気に入りの「場所」                      ③大切にしているもの      ④お気に入りの「キャラクター」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">「やりとりポイント」</p> <p>話し手：事実や自分の考えを1文付け加える                          聞き手：話題を広げたり深めたりする質問をする</p> </div>		2 ～ 7
	<p>◆<u>タブレット端末に録画した生徒のやり取りを内容面（「やり取りポイント」）や言語面から振り返り対話を継続する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末に生徒自身のやり取りを録画するように促し、自分のやり取りについて「やり取りポイント」や友からの意見を基にして、内容面や言語面から振り返る場を設ける。</li> </ul>		8 (本時)
終末	<p>◆<u>単元を振り返り、【話すこと〔やり取り〕ア】の力を伸ばすために必要なことについて自分の考えをまとめる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの授業の振り返りの記録や、前時のやり取りの動画から単元の学習を言語面と「やり取りポイント」から振り返り、【話すこと〔やり取り〕ア】の力を伸ばすために必要なことについて、自分の考えをロイロノートに記述する場を設ける。</li> </ul>	9	
後日	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の課題についてパフォーマンステストを行う。</li> <li>「お気に入りの○○」について、ペアで2分以上やり取りを継続する。</li> </ul>	知 技 思 態	

## 5 本時案

### 1 主眼

※【 】内は、中学校学習指導要領との関連を指している  
 「大切なもの」について、伝え合う場面で、1回目のやり取りを録画した動画から、内容面（「やり取りポイント」）や言語面から改善できそうな点についてペアで意見交換をし、その内容を全体共有した後、共有した考えを基に、2回目のやり取りをすることを通して、簡単な語句や文を用いて、話題を深めたり広げたりしながらやり取りを継続することができる。

【話すこと〔やり取り〕ア】

2 Lesson Goal：互いのことをもっと知るために「お気に入りの○○」について友と伝え合おう。

3 本時の位置（全9時間中 第8時）

前時：お気に入りの「キャラクター」について、「やり取りポイント」を基に、友とやり取りをした。

次時：本単元を振り返り、学んだことをロイロノートに記述する。

### 4 展開

段階	活動	予想される生徒の反応	教師の指導・助言 評価	時間
導入	1 前時の振り返りから、本時の学習の見通しをもつ。	ア 「やり取りポイント」を意識して、最初の頃よりも対話が続くようになってきたけれど、まだ会話が止まってしまうことがあるので、もっと会話を継続させたい。 イ 対話は残らないので、録画して意見を出し合えば、やり取りが継続して、友のことをもっと知ることができそう。 ウ 単元の最初にやった「大切なもの」についてもう1度対話をして、その話題から友のことをもっと知りたい。	・やり取りが続いてきたことを認めつつ、やり取りをさらに継続させるためにどのような方法があるか問う。 ・イのような反応から生徒自身のやり取りを録画することを提案する。 ・生徒とともにやり取りのテーマを決め、Today's Goalを設定する。	10分
展開	2 1回目のやり取りを録画した動画から、内容面（「やり取りポイント」）や言語面から改善できそうな点についてペアで意見交換をする。	A: This is my treasure, soccer ball. エ: Why is it your treasure? A: This is a gift from my father. I often play soccer with my father. オ: That's nice. A: Oh, do you like soccer, too? カ: Yes, I like soccer. (一部)	・ペアで「大切なもの」(仮)について伝え合い、その様子をタブレット端末で録画することを確認する。 ・録画した動画を基に振り返り、ペアで、自分たちのやり取りの改善点について意見交換をするように促す。 ・キのような、「やり取りポイント」から改善点に気付いた生徒の考えを取り上げ全体で共有する。 ・クのような、言語面のよさに気付いた生徒の考えを取り上げ全体で共有する。	22分
	3 2回目のやり取りをする。	B: This plastic model is my treasure. ケ: Why is it your treasure? B: I like this air plane very much. My dream is a pilot. コ: That's nice. You study very hard. So you can be a nice pilot. B: Thank you. You are so kind. Do you have a dream? サ: My dream is a baseball coach. I like my baseball coach very much B: Wow! Sounds nice! (一部)	・全体で共有したことを参考にして、ペアを変えて、2回目のやり取りを行うように促す。その際、2回目のやり取りの様子を録画してもよいことを伝える。 ・やり取りが続かない生徒には、板書を基にやり取りポイントからどのような1文を付け足したり、質問をしたりできるか尋ねる。	10分
終末	4 本時の学習を振り返る。	シ 「やり取りポイント」を基に、対話を見返すことで、話し手としてプラス1文が少なかったことが分かった。2回目の対話では、それを意識してやり取りをしたら、相手がとても喜んでくれて、さらに対話が続き友のことをもっと知ることができた。このような考え方を大切にして、今後もいろいろな人と対話をしたい。	・本時について、Today's Goalの達成状況とその理由についてロイロノートに記述するように促す。 ・シのような記述を全体で共有し、「やり取りポイント」を今後も活用することを確認する。	8分

【評価】記録に残す評価は行わないが、生徒が録画した動画から、「やり取りポイント」を基に、話題を広げたり深めたりしながらやり取りを継続している姿を見届け、次時以降の指導に生かす。